

浮魚情報（第8報）

平成29年9月22日
宮城県水産技術総合センター環境資源部
Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

シラス曳網調査結果

○調査方法

- ・9月20日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と海洋観測を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

航走ラインの共同漁業権第260号の北端から共同第261号の南端にかけて（図1）、底層付近にイワシまたはシラスと思われる反応が断続的に確認されました（図2）。

高周波（150kHz）の魚探が不調だったため、魚探反応はイワシの成魚とシラスの判別ができませんでした。

○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図2に示す山元沖において、中層トロール網（10分曳き）を行った結果、カタクチシラスと確認されました（図3）。
- ・カタクチイワシシラスの体長は18～31mm、平均27.4mm、モード28mmでした（図4）。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は、21.8～22.6℃、底層付近は、18.9～21.6℃となっていました。
- ・今回調査した漁場のほとんどが、底層付近が水産用水基準（6mg/L）を下回る低酸素状態になっており（<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/643784.pdf>）、シラスの分布に影響を与えている可能性がありますので、今後も漁場環境に留意してください。

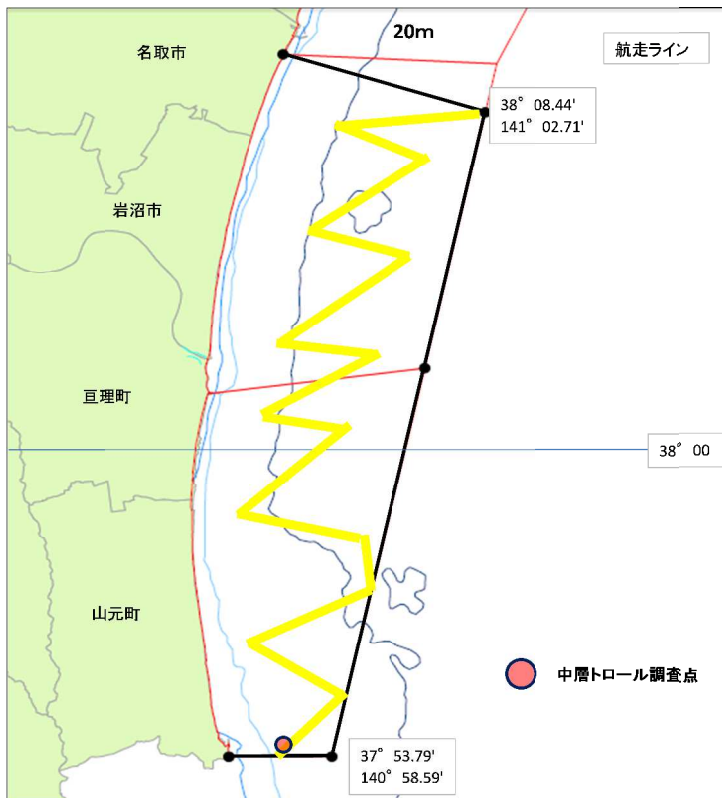


図1 航走ラインと中層トロール調査点

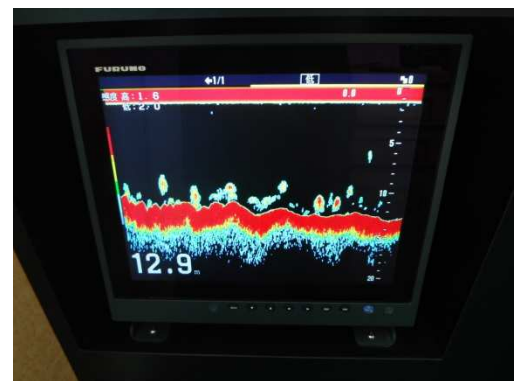


図2 魚探反応

※調査ラインの底層付近に断続的な反応（写真は山元町磯浜沖）



図3 中層トロールで採捕されたシラス

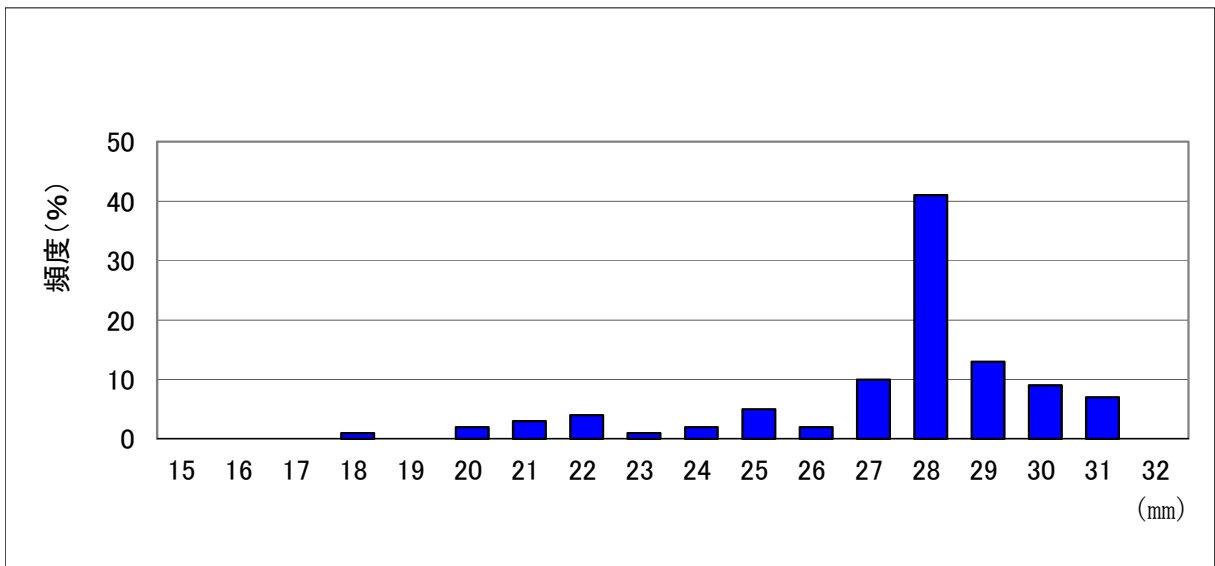


図4 中層トロールで採捕されたシラス全長組成